

令和6年度 東京大学学費免除申請書

Application for Admission/Tuition Fee Exemption - Academic Year 2024

東京大学総長殿

令和6年度前後期学費免除を申請します。

本申請書及び添付書類のすべての記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書及び様式等の記載事項に事実と相違があった場合、免除許可を取り消されても異議はありません。

後期に課程が変わる場合(修士→博士等)は、後期に改めて申請が必要であることを理解しました。

学部・研究科等

*学部
修士
博士
専門職令和6年 月 日
学 生 証 番 号

(フリガナ)

申請者氏名(自署)

前年度学生証番号:

*印のところは該当のものを○で囲むこと

*今回の申請内容	入学料免除 / 授業料免除 (前後期同時申請)	*修学支援新制度の申請又は採用状況 (学部学生のみ)	申請予定・申請資格なし 家計急変採用中・支援対象外 給付期間終了・廃止
①入学(進学)年度	年 月 入(進)学	* 学士入学 編入学	②留学生は右欄に○を付けること→
③本人住所 〒	メールアドレス() 電 話 番 号 () 研 究 室 内 線 ()		
④家族(父母)住所 〒	※独立生計者・留学生も記入すること。電 話 番 号 ()		

続柄	氏名	年齢	*配偶者 (それに準ずる者)	在学学校名	学年	*通学別	給与収入	所得
本人			有・無	国立 東京大学		自宅・自宅外		
続柄	氏名	年齢	職業	勤務先	在職期間			
父								
母								
母子(父子)家庭の場合	* <input type="checkbox"/> 死亡(時期 年 月) →遺族年金【有・無】 <input type="checkbox"/> 離婚(時期 年 月) →養育費【有・無】 <input type="checkbox"/> その他(時期 年 月)(理由:)							
*父	受給中の年金【有:国民年金、厚生年金、共済年金、企業年金、個人年金、障害年金、その他()・無】							
*母	受給中の年金【有:国民年金、厚生年金、共済年金、企業年金、個人年金、障害年金、その他()・無】							
続柄	氏名	年齢	職業	勤務先	在職期間	*通学別	給与収入	所得
就学者			立			自宅・自宅外		
			立			自宅・自宅外		
			立			自宅・自宅外		
			立			自宅・自宅外		
続柄	氏名	年齢	職業	勤務先	在職期間			
就学者を除く家族								
*親戚・知人からの援助【有・無】(年間 円)								

⑥奨学金受給状況	受給年度(受給有無)	令和5年度(2023.4~2024.3) (*有・無)↓有の場合は記入	令和6年度(2024.4~2025.3) (*有・無)↓有の場合は記入			
	団体名(奨学金名)	給・貸与期間	給・貸与月額	給・貸与期間	給・貸与月額	
	日本学生支援機構 (JASSO)	第一種	年 月~ 年 月	円	年 月~ 年 月	円
		第二種	年 月~ 年 月	円	年 月~ 年 月	円
		給付	年 月~ 年 月	円	年 月~ 年 月	円
	学習奨励費	年 月~ 年 月	円	年 月~ 年 月	円	
	年 月~ 年 月	円	年 月~ 年 月	円		
	年 月~ 年 月	円	年 月~ 年 月	円		

その旨を余白に記載していただく(申請中の方は、申請書の旨を余白に記載してください)

課税される奨励金(例:GSGC,WINGS,GLAFS,MERIT,SEUT-RA,SPRING-GX)は奨学金ではありません。受給者は採用証明書(写)を提出してください。

⑦ 履歴 (職歴含む)	年 月		高等学校卒業・大学入学資格検定合格・ 高等学校卒業程度認定試験合格	年 月	
	年 月		大学 入学	年 月	
	年 月			年 月	
	年 月			年 月	
	年 月			年 月	
⑧ 授業料 免除状況	令和5年度	前期分	*申請 有・無・休学		
		後期分	*申請 有(前後期同時申請・再申請・後期分のみ申請)・無・休学		
	令和6年度	前期分	前期申請時は回答不要		
		後期分			
⑨ 身分異動	平成・令和 年 月 ~平成・令和 年 月 (*留学・休学) 理由()				
	平成・令和 年 月 ~平成・令和 年 月 (*留学・休学) 理由()				
	平成・令和 年 月 ~平成・令和 年 月 (*留学・休学) 理由()				
⑩ 修業年限を超えて 在籍している理由	◇理 由 (*病気・休学・留学・論文作成・その他) ※理由書(別紙様式8)を添付すること				
	◇指導教員名(*教授・准教授・講師)				
⑪ 免除申請理由 (家族免除等)	※全員記入。特に、後期再申請者は前期との変更点を明記すること。				
	※If you write this section in English, please attach a Japanese translation.				
⑫ 主たる家計支持者が 無職(失職)の場合	◇発生年月日(平成・令和 年 月)		◇就業見込み(*有・無)		
	◇現在の生活費の出所()				
⑬ 障害等 関係事項	続柄	氏名	*所得控除該当事項	手帳番号	*障害年金受給
			心身障害・公害疾病・長期療養・原爆被爆・要介護		有・無
			心身障害・公害疾病・長期療養・原爆被爆・要介護		有・無

注意

- ・記入漏れがないか十分に注意してください。
- ・申請書の内容は、4月1日現在の事実をありのままに正確に記入して下さい。故意に事実と相違して記入した場合は、許可後であっても免除許可を取り消します。
- ・後期に課程が変わる(学部→修士、修士→博士、専門職→博士)場合や転学部・転研究科した場合は、後期に改めて申請が必要です。課程・所属が変わった場合、申請は引き継がれないため、後期に申請を忘れないよう十分注意してください。
- ・署名は必ず申請者本人が署名してください。
- ・署名以外の部分に関してはPC入力でも差し支えありません。
- ・手書きする場合、黒のペンまたはボールペンで記入してください。(鉛筆や消せるボールペンの使用は不可)
- ・申請は、当年度限り有効です。次年度以降も在学する者で学費免除を希望する場合には、次年度に改めて申請してください。